

平成28年3月：第397回 大野市議会定例会

代表質問 3月7日（月） 午前

質問者	質問概要
兼井（創生おおの）	<p>1 健全財政の維持と予算配分について</p>
	<p>○ 所得の増等による市税の増収を期待しているが、地方創生・人口減少対策を取りまとめた大野市総合戦略の実現に向け、一層の行財政改革が必要とされる中、健全財政を維持しつつ、予算編成をしなければならないが、現在の財政状況をどのように捉えているのか。</p> <p>○ 「構造的な問題である少子高齢化に真正面から挑み、「希望を生み出す強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」の「新・三本の矢」を掲げ「一億総活躍社会」を実現する」という国の政策を受けて、平成27年度補正予算、平成28年度当初予算の効果的な執行とその狙いをどのように捉えているのか。</p> <p>○ 共働き子育て世代の若者、女性、高齢者、障害のある方等、大野市民総活躍社会の実現についての考えは。</p>
	<p>2 「結の心」を基礎とした次世代へ向けてのビジョンについて</p>
	<p>○ 平成26年の市制施行60周年、結の故郷発祥祭、「結の故郷 越前おおの」によって市民に浸透した「結の心」を土台とし、発展的継続性が求められているが、次世代へ向けての市民一丸となって進むべきより具体的な方向性、大野市像・ビジョンについてどのように考えているか。</p>
	<p>3 人口減少対策について</p>
<p>○ これまでのハード事業で整備を進めてきた資産と、今後整備や改修を予定している資産（文化会館・越前大野城・エキサイト広場・B&G海洋センター・自転車走行空間の整備・道の駅「（仮称）結の故郷・古民家ギャラリー・うらら館・結の故郷化石発掘センター等）をどのように戦略的に連携させ、今後のソフト事業（キャリングウォータープロジェクト・すこやかゆめみらい応援券事業・結の故郷創生会議等）で人口減少対策を加速させていくのか、県・近隣市町の資産も含め広域的な視点からの戦略は。</p>	
<p>4 職員の意識改革と人材育成について</p>	
<p>○ 内閣府が毎年実施する社会意識に関する世論調査では、国の政策への民意の反映程度を調査しているが、そこで「反映されている」とする方の割合が27.6%、「反映されていない」とする方の割合が69.4%となっている。住民のニーズとウォンツを的確に把握し、住民にとって意義ある行政サービスを創造し、その提供のための戦略的な活動を通じて、初めて住民・社会の満足向上が実現する行政サービスの提供が可能となる。この調査結果は国の政策についてだが、大野市職員の意識改革と人材育成について、これまでの成果と今後についてどのように考えているか。</p>	

5 少子化に対応した活力ある学校づくりと地域づくりの将来ビジョンについて

○ 小中学校の適正規模化の検討については、再編後の将来ビジョンとして、より良く魅力ある学校づくりにつながる道筋を明確にし、市民との共有が重要と考える。「地域との協働関係を生かした学校づくり」「魅力あるカリキュラムの導入」「施設整備面での充実」や、課題への対応として「スクールバス等の交通手段の導入に対する対応」「児童生徒にとっての環境変化への対応」「地域との関係の希薄化を防ぐ対応」「地域の拠点機能の継承」等が考えられるが、その現状と今後どのように推進していくのか。

6 越前おおの型農業の確立について

○ 自分が作れる物を提供する「生産志向」、自分が良いと判断する物を提供する「製品志向」、自分が売りたい物を提供する「販売志向」など、提供する側からのスタートには限界がある。消費側からの視点が求められる時代、「越前おおの型 食・農業・農村ビジョン」に基づく施策や、「越前おおの型農業」を確立するための推進役であり、農家の下支え役としての機能を持つ一般財団法人越前おおの農林楽舎の取り組みによって、農林業の発展と地域社会経済の活性化にどのような成果があり、また今後どのように取り組むのか。

7 福井しあわせ元気国体・大会（全国障害者スポーツ大会）について

○ 福井しあわせ元気国体と全国障害者スポーツ大会である福井しあわせ元気大会の選手等の育成・強化や運営について、これまでの成果と今後についてどのように考えているか。

○ 福井しあわせ元気大会の開催を機会に、障害者が幼少期からスポーツへの参加意識を醸成できる環境づくりをどのように進めるのか。また現在、どのような競技に参加が可能なのか。さらに今後、市民マラソン等の各種スポーツイベントでも、積極的に障害者の参加を促す取り組みの必要性についてどのように考えているか。

質問者	質問概要
島口（新生おおの）	1 平成 28 年度の基本姿勢と重点施策について
	○ 平成 28 年度の市政運営に当たっての市長の基本姿勢と特に重点的に取り組もうとしている施策はいかがなものか。
	2 キャリングウォータープロジェクトについて
	○ 東ティモールに対して水に関する支援を実施する平成 28 年度の事業の具体的内容は。
	3 「働く若者定住奨励金」「結の故郷ゆめみらい支援事業」「結の故郷すこやか家族応援事業」について
	○ それぞれの事業の平成 27 年度の実績と平成 28 年度の見込み、そしてその財源の見通しはいかがなものか。
	4 家庭、地域での教育力の向上について
	○ 策定中の「大野市結の故郷ふるさと教育推進計画」を踏まえた平成 28 年以降の家庭、地域での教育力の向上のための具体的施策はいかがなものか。
	5 高齢者の福祉について
	○ 介護保険制度の改正により、サービス内容がどう変わるのか。また、サービスを受ける高齢者への影響はいかがなものか。
6 産業団地について	
○ 今後の日程はいかがなものか。	
7 重点道の駅「（仮称）結の故郷」について	
○ 策定予定の基本計画では、どのような魅力を持たせた道の駅をお考えなのか。また、その概要はいかがなものか。	
8 実践型地域雇用創造事業について	
○ 平成 28 年度の本事業の内容とはいかがなものか。また、どのような事業効果を考えているのか。	
9 六呂師高原の活性化について	
○ 旧六呂師ハイランドホテルの活用も含め、現在、具体的な取り組みについてどのように考えているのか。	
10 農業政策について	
○ 平成 28 年度は、どのように「越前おおの型農業」の推進を図る考えなのか。	

質問者	質問方式	質問概要
川端（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 流域水循環に関する取り組みについて</p>
		<p>○ 法施行、議会議決を受けて、今後の本市の流域水循環に関する取り組みをどのように考えているのか。</p>
		<p>2 特用林産物生産・加工施設について</p>
		<p>○ 施設については、3月末に竣工し、4月から操業を予定されており、収益を見込まれているようであるが、本格稼働にあたり、指定管理を予定されている（株）昇竜の本施設における収支の見込みはいかがか。</p>
		<p>3 文化会館の整備について</p>
<p>○ 文化会館の整備について、今後の日程とPFI導入の考え方はいかなものか。</p>		
<p>4 化石発掘体験施設について</p>		
<p>○ 平成28年度に実施設計を予定している同施設は、どのような施設を考えているのか、その概要をお示しいただきたい。</p>		
松田（創生おおの）	一問一答方式	<p>1 学校教育審議会の答申を受けて</p>
		<p>○ 再編計画（素案）の説明会で市民の皆さまから頂いたご意見やご提案について、学校教育審議会ではどのような議論がなされたのか。また、これからの再編計画（案）にどのように反映させていくのか。</p>
		<p>○ 特に、特色ある学校や小中一貫校のご提案、そして人口が減って地域がなくなるのではないかと意見についてどのように議論され、今後の採用される可能性について。</p> <p>○ （仮称）再編検討協議会の定義について。</p> <p>○ 情報の公開について、答申が出された段階で、その会議録が公開できないのはなぜか。</p> <p>○ 学校再編に伴う地域性の捉え方について、自分の地域を現在の「各地域」と捉えるのではなく、広い視野に立ち「大野全体」を地域と認識する必要・・・とあるが、その考え方の背景は何か。</p>
<p>2 大野市結の故郷ふるさと教育推進計画（案）のふるさと教育の基本方針について</p>		
<p>○ 優しく、賢く、たくましい子どもたちを育成するためには、家庭と地域と学校が相互信頼の中で協力し連携することが大切であり、その質を高めていく環境づくりが重要であると考えているが、今回のふるさと教育の基本方針では、従来の家庭教育、地域教育、学校教育の3分野から、特に家庭教育と地域教育の2分野に重点を置いた・・・とあるが、なぜ学校教育を外し2分野としたのか。</p>		

一般質問

3月8日（火） 午前

質問者	質問方式	質問概要
松原（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市における文化の向上を図る方法について</p> <p>○ 文化、芸術により多く親しみを持てるような行政方法とはどのようなものと考えているのかお聞きする。</p> <p>○ 音楽について、親しみを持てるような行政方法はどのようなものかお聞きする。</p> <p>2 キャリングウォータープロジェクトについて</p> <p>○ 支援先にどうして東ティモールが選ばれたのかお聞きする。</p> <p>○ 東ティモールはどこにあるのか、その国はどのような文化なのか、使用している言語はどのようなものか等を聞きたい。</p>
廣田（立志会）	一問一答方式	<p>1 地域おこし協力隊等について</p> <p>○ 地域おこし協力隊員等の活動の状況と、任用期間終了後の定住状況、進路（職業）の状況は。</p> <p>○ 地域おこし協力隊等制度の市にとってのメリットや地域にとってのメリットは。また、地域おこし協力隊等の定着（定住）のためには、何が必要か。</p> <p>○ 地域おこし協力隊等が担うことが可能（若しくは有効）な業務や役割は。</p> <p>2 グループ制導入における効果について</p> <p>○ グループ制を導入して約2年が経過するが効果が得られたのか。また、課題があれば教えてほしい。</p> <p>○ 実際に年度途中でのグループ編成の見直しを行ったことがあるのか。</p> <p>○ ワンストップサービスを提供するにあたり、部門間での連携が必要となるが、部門を超えた人財によるグループ編成があるのか。また、他機関との連携についても聞きたい。</p>

質問者	質問方式	質問概要
高田（創生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 「立地適正化計画」について</p> <p>○ 「立地適正化計画」とはどのような計画なのかお尋ねする。</p> <p>○ 「立地適正化計画」の意義と役割をお尋ねする。</p> <p>○ 計画策定に向けた基礎調査の方法と、どのようなデータを取られたのかお尋ねする。</p> <p>○ 適正化の適正と判断される基準をお尋ねする。</p>
		<p>2 重点道の駅「（仮称）結の故郷」について</p> <p>○ スポーツ・イベント広場の機能及び設備についてお尋ねする。</p> <p>○ 隣接する旧蕨生小学校の利用は、どのようにお考えかお尋ねする。</p>
		<p>3 観光客入り込み数について</p> <p>○ 第五次大野市総合計画後期基本計画で目標年間観光入込客数 220 万人と上方修正された理由をお尋ねする。</p> <p>○ 観光地別観光客入込数で、市内（イベントを含む）のカウントはどのように数えているのかお尋ねする。</p>
野村（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p>1 小中学校再編について</p> <p>○ 学校適正規模・基準の教育的法的根拠について。</p> <p>○ 少人数教育の利点と課題について。</p> <p>○ 国の教育改革と入試改革は決まったのか。</p> <p>○ 子どもにとって、集団とは学校が全てか。</p> <p>○ 住民説明会等における特徴と今後の計画に活かす点は何か。</p> <p>○ 再編素案の再編協議会と再編推進協議会の性格・役割の違いは何か。</p>
		<p>2 市内イベント出店料等について</p> <p>○ 入り込み数一人当たりの市拠出金の違いはどうか。</p> <p>○ イベントごとに出店料が違うのはなぜか。</p> <p>○ 会場設営を委託しているところと委託していないところの違いは何か。</p> <p>○ 今後のイベントへの補助金・会場設営などの統一が必要ではないか。</p>
		<p>3 子ども医療費窓口無料化について</p> <p>○ 前回の一般質問で、子ども医療費窓口無料化について「ことさら、現在の状態で要請する必要はない」とのことだったが、子どもの医療費窓口無料化の見込みはあるのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
梅林（創生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 財政の健全化について</p>
		<p>○ 第五次大野市総合計画に掲げる将来像「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」を実現するため、財政的な見通しをもった計画的かつ効率的であり、なおかつ柔軟な中長期の財政運営が求められるが、どのように行っていくのか。</p> <p>○ 地方公営企業会計制度の見直しによる本市の取り組みは。</p> <p>○ 公営企業による中長期的な経営の基本計画となる「経営戦略」の策定は。</p>
		<p>2 少子化対策について</p>
		<p>○ 大野市人口ビジョン、大野市総合戦略では、将来目標人口を平成31年に定住人口を3万2,100人、合計特殊出生率1.66を基本目標としている。その具体策は。</p>
		<p>3 教育に関する大綱（案）について</p>
<p>○ 大綱策定の趣旨、大綱の位置づけは。</p> <p>○ 子ども・子育て支援事業計画との整合性は。</p> <p>○ 教育の中立性をどのように考えるか。</p>		
<p>4 第三次大野市地域福祉計画（案）について</p>		
<p>○ 平成28年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行される。差別のないまちこそが、結の故郷であるが、障害のある人等への理解の促進をどのように具体化していくのか。</p> <p>○ 本市における成年後見人制度のニーズと支援体制は。</p>		

質問者	質問方式	質問概要
<p style="text-align: center;">栄（日本共産党大野市議団）</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl;">一問一答方式</p>	<p>1 住民訴訟、最高裁判決から1年経過した今日までの意義について</p> <p>○ ①市民への説明はしない（これは、議会モニター会議でも疑問の声あり）。②行政責任については、答弁なし。③判決については遺憾だが、厳粛に受け止め、適正に対処していきたい。④遅延に伴う損害は、1審、2審は関係ない。最高裁の確定から大野市の法令違反が確定したものと認識している。⑤反省点として、協議で決まったことを契約書等で残しておけば、とのこと。⑥住民監査請求の「③」においては「契約の自由」の原則で、当事者間の合意が有効で3月8日の登記申請日が引き渡し時期だと認識したもの。以上が1年前の質問に対する理事者の答弁で、認識に変更はないか。</p> <p>○ 文書管理の不十分さの改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市は、協議書と契約書との違いがあったことを書類が万全ではなかったことを問題にしている。このことも問題だが、情報公開請求及び裁判過程で明らかになったのは、当該企業誘致の関連文書は、協議書・契約書のほかは、担当課長の「メモ」しかないと言った情報公開請求と裁判で明らかになった。しかし、市の文書規則ではほかにもさまざまな文書を完備しなければならないとされている。例えば、「電話聴取簿」「会議録」等、通常の事務処理で手抜きとも言える状態で業務がなされているのか。 ・情報公開は、行政の起案から審議過程まで政策決定過程も市民の知る権利として、保存・公開を原則とすることを目的して定められているもの。今回の事件経過から、市の情報公開姿勢は、積極的に公開する姿勢に立って整備されていないように思えるがどうか。情報公開の視点で文書管理の改善点についてどのように考えているのか。 <p>○ 行政責任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事件について、先の議会で副市長は「反省すべきことはある」と答弁している。「協議で決まったことを、契約とかで明確にしておけば今回のようなことはなかった」、さらに「税務担当者と企業誘致担当の間の意思疎通がなかった」という反省をしている」と答弁している。協議書で引き渡しはするが、固定資産税を初年度賦課しないと取り決めていたなどの協議書が存在するのか。 ・「書類整理が万全でなかったと反省している」とある。具体的にどのような書類整理が万全でなかったと考えているのか。 ・「あの土地はさまざまな経過をたどり、そこへの企業誘致に職員は一生懸命だったが事務処理に問題があった。その書類不備があつて裁判で認められなかった」と答弁している。行政或いは契約は書類が全てだ。ここに問題があったということか。 ・市行政の違法性が明らかになり、市民に損害を与えた。こうした場合、市行政は、一般的に再発防止策の実施と、責任処分を行うが、今回の件ではどのように処置したのか。 <p style="padding-left: 2em;">例えば、市長等に報酬カット何か月といったようなことが報じられることがあるが、この事件についての責任・処分について、大野市は全く考えていないのか。</p>
		<p>2 観光入り込み数と公園のトイレの整備について</p> <p>○ 天空の城等で大野城のPRも盛んであり、情報の発信で観光客200万人の交流人口を目指す政策を進めているが、亀山公園のトイレは使用できないとの市民の苦情や、九頭竜国民休養地での新緑まつりや紅葉まつりの際は、多くの人が並んで用を済ますとの苦情が頻繁だが改善とその設置計画の対応はどうか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
藤堂（誠和会・公明党）	一括質問・答弁方式	<p>1 キャリングウォータープロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャリングウォータータープロジェクトの概要と経緯、今後の取り組みを聞きたい。 ○ 一般財団法人「水への恩返し財団」の募金活動の状況を聞きたい。 ○ キャリングウォータープロジェクトに係る国際支援と人口減対策はどのように結び付くのか聞きたい。
		<p>2 休日急患診療所の業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 休日急患診療所の勤務体制を聞きたい。 ○ 診療所を訪れる患者の状況を聞きたい。 ○ 大野市における小児科の状況を聞きたい。
		<p>3 小学校の英語授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の小学校英語の取り組み状況を聞きたい。 ○ 本県における今後の小学校英語の取り組みはどのようになるのか聞きたい。
		<p>4 18歳以上の選挙権啓発活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市の18歳以上選挙者の状況を聞きたい。 ○ 選挙権に係る選挙投票啓発活動の取り組みと政治意識の取り組みについて聞きたい。
		堀田（立志会）
<p>2 「ふるさと納税」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに集まったふるさと納税の寄付金の使い道は。また、県内他市町の平成27年度のふるさと納税の状況は。 ○ 平成27年度に市民が、他自治体にふるさと納税をされた人数及び総額は。 ○ ふるさと納税の使い道の明確化（具体化）が必要と考えるが見解は。 ○ ふるさと納税者からの応援メッセージの内容は。 ○ 低額の寄付金のお礼の品として、入場券や入浴券、また割引券などを考えては。 		